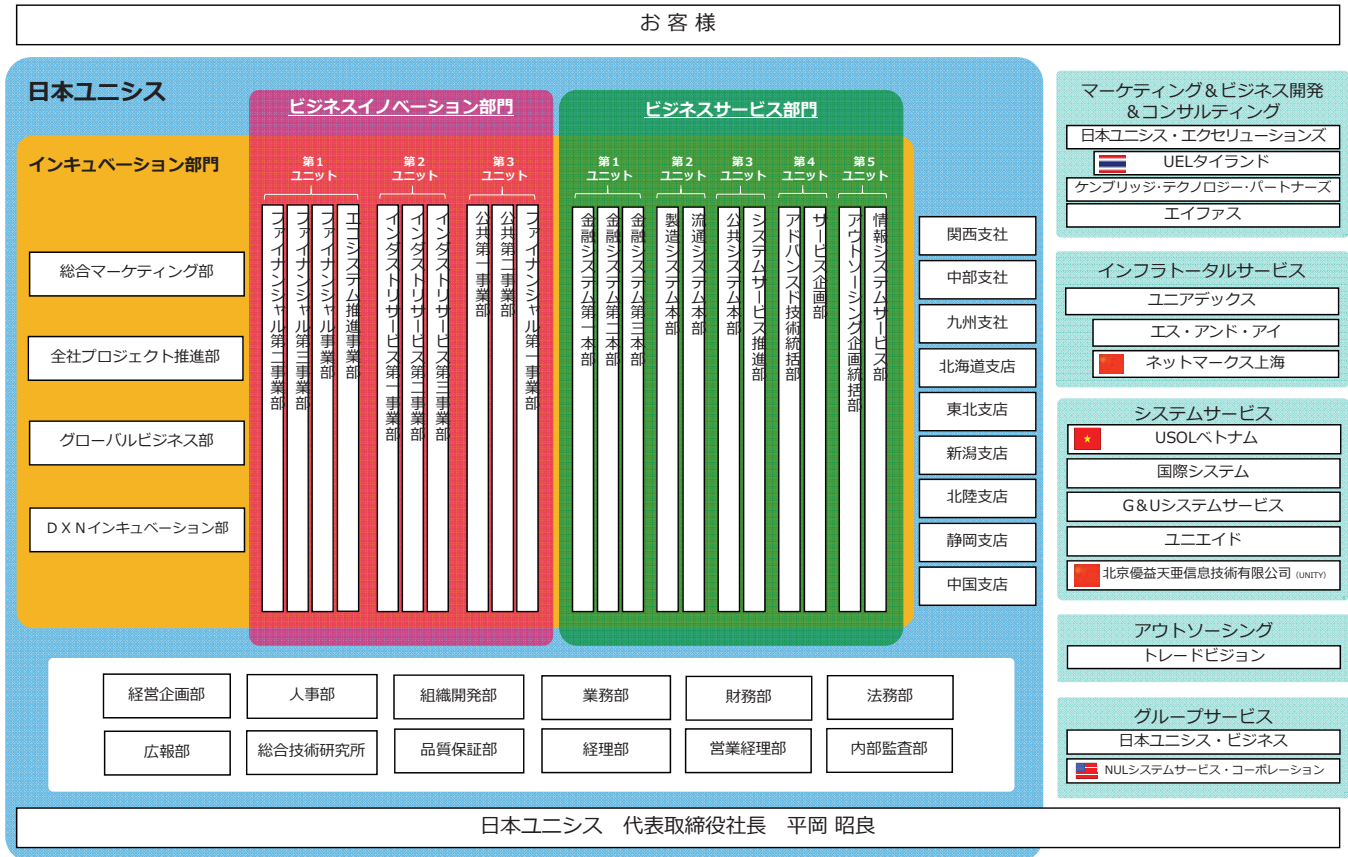


日本ユニシスグループ 事業概況資料

日本ユニシス株式会社

2016年度 日本ユニシスグループ体制図



©2016 日本ユニシス株式会社

2016年4月1日現在

日本ユニシスグループ企業の概要

マーケティング&ビジネス開発&コンサルティング

- 日本ユニシス
ビジネスおよびICTサービス（コンサルティング、企画、開発、保守・運用を含む）のコーディネート、提案および実施
- 日本ユニシス・エクセリューションズ
3次元CAD/CAMシステム、住宅CADシステム、ビジネスソリューションの開発・サービスを提供
- UEL (Thailand) Co., Ltd. (UEL タイランド)
- ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ
企業変革の構想策定からIT導入、改革の定着化まで広範なファシリテーション型コンサルティングを提供
- エイファス
金融機関の業務スペシャリストによる、金融機関に適したソリューションの提供

インフラトータルサービス

- ユニアデックス
ICT基盤（データセンター、サーバーからネットワーク、デバイスまで）をトータルサービス（コンサルティング、企画、構築、保守・運用、設備を含む）としてベンダーフリーでグローバルに提供
- エス・アンド・アイ
仮想化戦略を核にコンサルティングから設計、構築、運用、保守に至るICT基盤ソリューションを提供
- 網标信息技术（上海）有限公司（ネットマークス上海）
上海・広州・大連・天津を中心とした中国国内において、ICT基盤の設計・構築・運用・保守を総合的なサービスとして、主に日系企業様向けに提供

システムサービス

- USOLベトナム
日本ユニシスグループのオフショア開発センター
グループ内のソリューションソフトウェアの開発、国内ユーザー企業からの受託開発など
- 国際システム
沖縄県内外において、最新IT技術とノウハウを活かして地域に密着したサービスを展開
- G&Uシステムサービス
大型のICTフルアウトソーシングと、流通/製造分野のソリューション開発および適用のビジネスを展開
- ユニエイド
流通小売業向けシステム、クレジットシステムの開発・運用・保守、および流通小売業へのソリューション適用
- 北京優益天亜信息技术有限公司（UNITY）
人工知能や最先端のアルゴリズム（計算方式）を活用した 輸配送最適化システムや需給システムを製造・流通企業に提供

アウトソーシング

- トレードビジョン
商品先物業界を中心に、基幹業務のアウトソーシングを展開

グループサービス

- 日本ユニシス・ビジネス
グループ各社共通業務（購買・物流）、社員向けサービス（福利厚生・保険等）およびBPOビジネスの実施
- NULシステムサービス・コーポレーション
米国等海外における先進技術・ビジネスのリサーチ、商材の発掘、米国ユニシスに対するソフトウェアの販売

©2016 日本ユニシス株式会社

2016年4月1日現在

中期経営計画ビジョン

**ビジネスをつなぎ、サービスを動かす。
ICTを刺激し、未来をつくり出そう。**

今、私たちは新たな変革の時を迎えています。
私たちは、ICTで培った確かな経験と実績をバックボーンに、
さまざまなお客様とともに数多くのソリューションを提供してきました。

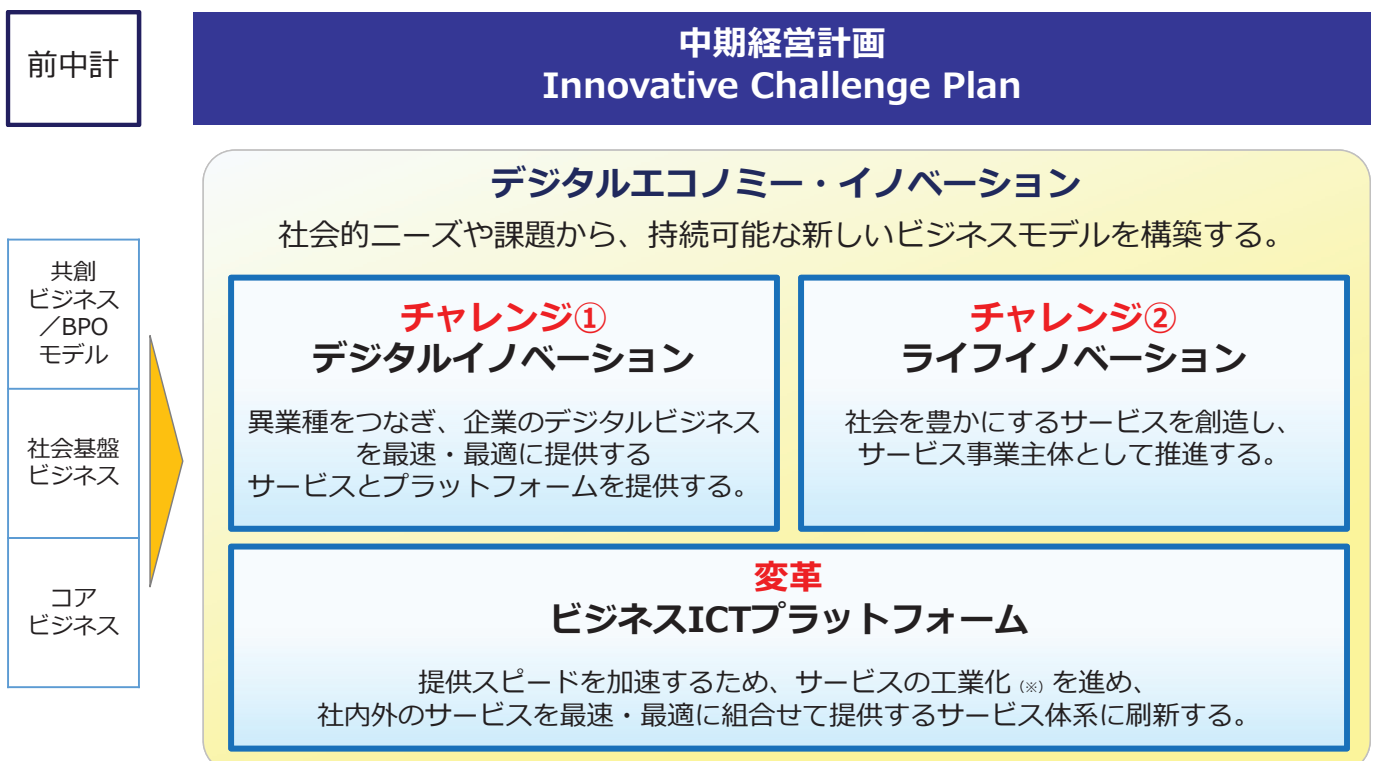
Internet of Things, すべてがつながり広がる世界で
私たちはその豊富な実践知でサービスを融合し、
ICTを動かし、飛躍させ、自ら積極的に新しいビジネス連携の形を広げます。

日本ユニシスグループは、今までにないサービス基盤を先駆けて築き、
未来のあたりまえになっていく革新的なサービスを実現していきます。

©2016 日本ユニシス株式会社

成長戦略

- 成長市場に対し、チャレンジと変革で持続的成長企業に変革 -



※サービスの工業化：サービス提供において、自動化・標準化・部品化などを行うことで効率的なサービスの提供を行うこと。

©2016 日本ユニシス株式会社

重点戦略

中期経営計画 (Innovative Challenge Plan)

- 変革を実行するために5つの施策を実施 -

チャレンジ① デジタルイノベーション

異業種をつなぎ、企業のデジタルビジネスを最速・最適に提供するサービスとプラットフォームを提供する。

チャレンジ② ライフイノベーション

社会を豊かにするサービスを創造し、サービス事業主体として推進する。
短中期：ビジネス・エコシステムを構築
中長期：次世代技術サービス事業の推進

変革 ビジネスICTプラットフォーム

提供スピードを加速するため、「サービスの工業化^(※)」を進め、社内外のサービスを最速・最適に組合せて提供するサービス体系に刷新する。

企業風土・人財改革

新たな価値を創造する企業風土と人財に変革する。

投資戦略

チャレンジと変革、人財変革に重点投資する。

※サービスの工業化：サービス提供において、自動化・標準化・部品化などを行うことで効率的なサービスの提供を行うこと。

©2016 日本ユニシス株式会社

新たなポジション

社会課題を解決する、業界を超えた連携 ビジネスエコシステム

日本ユニシスグループは、成長するデジタルエコノミー領域で、異業種をつなぐ新たな仕組みを提供します。



©2016 日本ユニシス株式会社

主な事業領域

金融分野

- メガバンク・信託**
 - ・資金証券系システム
 - ・証券決済・カストディシステム
 - ・信託財産管理システム など
- 証券・保険**
 - ・証券基幹系システム
 - ・保険業向け契約・給付・保全ワークフローシステム
 - ・営業支援系システム など
- 地銀・信金**
 - ・勘定系システム
 - ・資金証券系システム
 - ・国際系システム
 - ・経営・顧客情報系システム など
- 系統**
 - ・勘定系システム
 - ・資金証券系システム
 - ・決済系システム など

製造流通分野

- 製造**
 - ・製造業向けCAD/CAMシステム
 - ・住宅業界向け3次元住宅設計システム
 - ・購買・調達ソリューション
 - ・取引先調査SaaSソリューション
 - ・含有化学物質管理システム
 - ・PLMソリューション
 - ・見える化ソリューション
- 流通**
 - ・次世代流通基盤、小売業向け次世代流通ソリューション
 - ・ダイレクトマーケティング (DM) 業界向けソリューション
 - ・アパレル統合ソリューション
 - ・製菓業界向けソリューション
 - ・リース業向けトータル・システム
 - ・クラウド型タクシー配車システム
 - ・決済事業サービスソリューション
 - ・食品卸向け販売管理ソリューション
 - ・食品メーカー向け営業支援システム

公共分野

- 官公庁・自治体**
 - ・医薬品等申請・審査システム
 - ・工事管理支援システム
 - ・入札情報サービス (統合PPI)
 - ・住民情報系システム
 - ・総合文書管理システム
 - ・上下水道料金システム
 - ・バス運行管理システム
 - ・小中学校校務クラウドサービス など
- エネルギー**
 - ・[電力] 営業/配電/経理/工務・工事管理システム
 - ・[ガス] 営業/供給管理システム
 - ・[EV] EV充電インフラ (smart oasis®)
 - ・[新電力] Enability® CIS
 - ・[エネルギー管理] Enability® EMS
- 航空・運輸**
 - ・[エアライン] 国内旅客システム、国内旅行システム
 - ・[鉄道] 特急座席予約システム、顧客会員管理システム
 - ・[運輸] ドライブレコーダー (無事故プログラムDR®) など
- 医療・通信・他サービス**
 - ・[医療・介護] 地域医療介護連携システム、電子カルテ、介護業務支援システム、IoT見守り、健康・予防サービス
 - ・[保育] 保育支援サービス
 - ・[テレコム] 通信業向けソリューション
 - ・[旅行] 総合旅行システム
 - ・[エンタメ] 予約販売システム など

©2016 日本ユニシス株式会社

デジタルイノベーション

ビジネスエコシステム

日本ユニシスと板前寿司

訪日外国人観光客向け接客ナビゲーションシステム「WaviSaviNavi™」を実証実験
来店する外国人に、日本食通のバイリンガルが隣にいるような体験を提供

近年増加し続ける訪日外国人に対して、「食」という切り口で、想定外の発見や満足が得られる一歩進んだ旅行体験を提供します。「ノンバーバル・コミュニケーション」を可能にするアプリサービスにより、話言葉に頼ることなく、店員・訪日外国人来店客間のコミュニケーションが可能となります。

- 「カスタムストーリー」
⇒ 国境による文化・慣習の垣根を超えて、日本独特の素材・調理方法の魅力や作法について、「発見」を交えて伝えます。
- マルチオーダーシート
⇒ 訪日外国人来店客の、言葉が通じないことによる注文時の不安を払拭することで、注文数の増加・客単価向上を実現します。

- ①. 旅脈レコメンド
AIによるあなた専用のコンシェルジュ
- ②. カスタムストーリー
商品価格を分かりやすく伝える
- ③. スタンプ予約
直感的な絵で簡単コミュニケーション
- ④. 寄り道案内
道案内しつつ寄り道スポット紹介
- ⑤. マルチオーダーシート
母国語で簡単注文で日本語も併記
- ⑥. SNS連携
SNSとID連携し、情報も共有



言語、文化の**バリアフリー**

ポイント 1

ポイント 2
自然な流れで**旅脈**を取得&活用

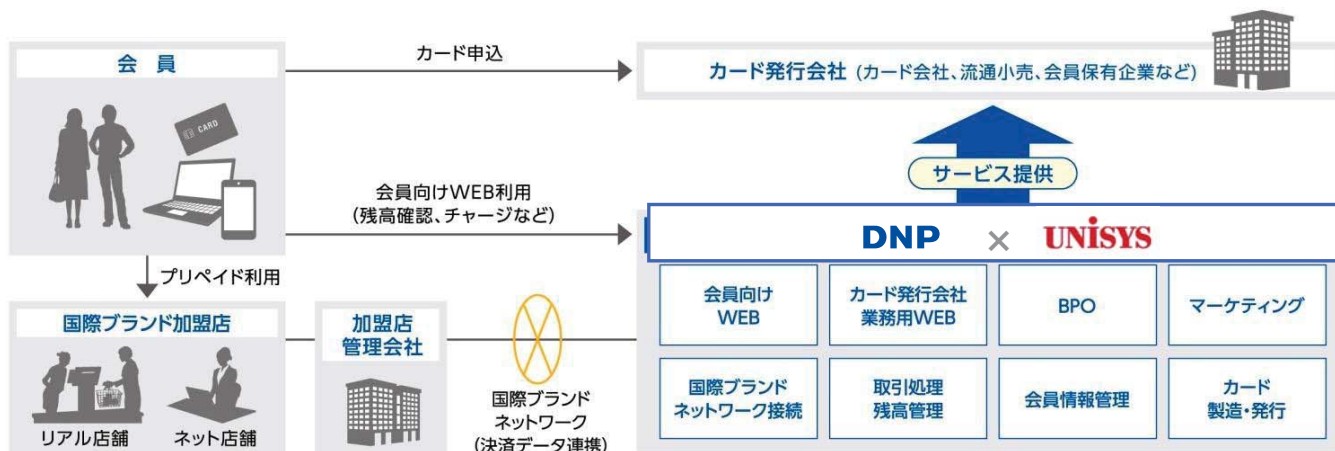
ポイント 3
繰り返すことでより**旅**が深まる

※ 旅脈：旅行中の行動履歴/アプリ利用ログ、SNSの公開情報等、全ての情報を統合したデータです。

©2016 日本ユニシス株式会社

大日本印刷と日本ユニシス 多様なキャッシュレス決済を実現する「国際ブランドプリペイド」の 決済プラットフォームサービスを提供

国内初、発行・決済システム機能、カード製造、業務受託、マーケティングまでのワンストップサービス



*国際ブランドとは、VISA、MasterCard、JCBなどの国際決済カードブランドです。

- クラウドサービスで提供することで独自開発によるシステム導入に比べて初期コストを抑え、短期間でサービス開始が可能
- あらかじめパッケージ化された共通機能とカード発行会社ごとの個別要件をカスタマイズし組み合わせて提供
- 国際ブランドは、Visa、MasterCard、JCBに対応予定
- サービスはPCI-DSS (Payment Card Industry Data Security Standard) に準拠し、高セキュリティ環境で運用

【金融】 日本ユニシスと大日本印刷 「国際ブランドデビット決済サービス」の提供を開始 北國銀行のVisa payWave®付きデビットカード「北國Visaデビットカード™」で採用

取引処理、会員管理、勘定系システムとの連携、夜間サービス代行などの機能をワンストップで提供

【事例】

2016年4月1日 北國銀行は、「国際ブランドデビット決済サービス」のファーストユーザーとして「北國Visaデビットカード」の発行を開始

- ・非接触IC決済サービスのVisa payWave機能を追加
- ・国内外のインターネットを含む3,800万店以上のVisa加盟店での買い物に24時間365日利用可能
- ・利用代金は即時に北國銀行の普通預金口座から決済
- ・利用金額に応じてポイントを付与
- ・今後、キャッシュカードとの一体型カードの発行も予定

「北國Visaデビットカード」のカードデザイン



クラシック



ゴールド

- クラウドサービスで提供することで、金融機関は、低コスト・短納期で国際ブランドデビットのサービス導入が可能
- システム構築・運用に加えて、カード製造・発行、認証サービスなどを組み合わせて提供し、金融機関の業務負荷軽減に貢献
- 日本ユニシスの次世代オープン勘定系システム「BankVision®」を利用している金融機関は、勘定系システムとのインターフェースの共通化、勘定系システムへの専用線接続などにより、従来の費用を軽減することも可能
- サービスはPCI-DSS (Payment Card Industry Data Security Standard) に準拠し、高セキュリティ環境で運用

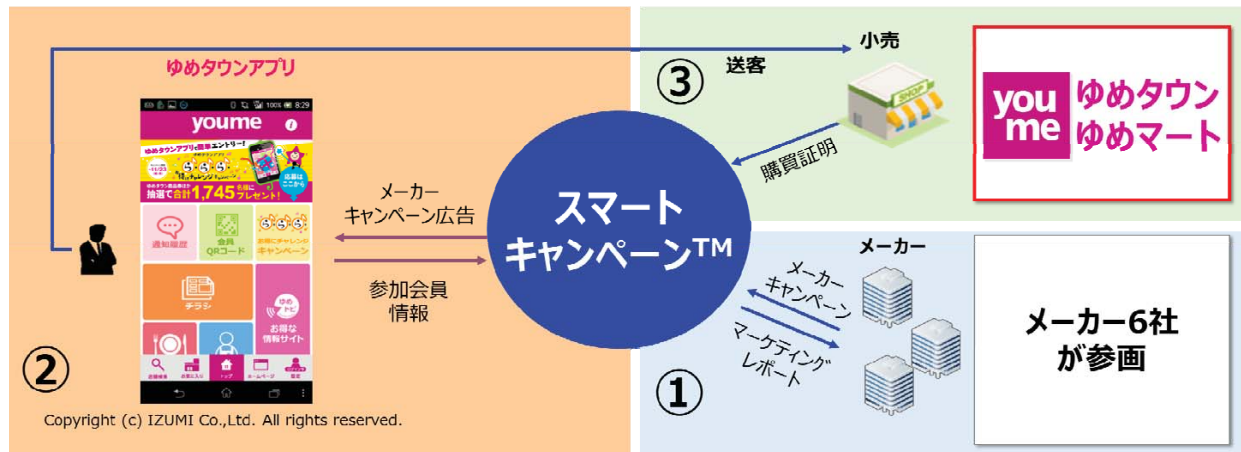
デジタルイノベーション

【製造流通】

スマートキャンペーン™ CLOを活用した購買連動キャンペーンプラットフォーム

大日本印刷との共同事業契約を締結
国内初のCLOサービスを活用した新たなキャンペーン手法を開始
～2016年3月からイズミが参加／流通・小売提携先へ展開中～

●イズミでのスマートキャンペーン



- ① 本サービスに参画するメーカーの『メーカーキャンペーン』を
- ② 本サービスに参画する会員サイト（ゆめタウンアプリ）に配信し
- ③ 本サービスに参画する小売店舗（ゆめタウン、ゆめマート）へ送客

©2016 日本ユニシス株式会社

デジタルイノベーション

【製造流通】

米Fellow Robots社の自律移動型サービスロボットの取り扱いを開始

ヤマダ電機の店舗で、米Fellow Robots社の
自律移動型サービスロボットNAVII™（ナビィ）を活用した実証実験を実施

1. 実施期間：2016年2月1日（月）～3月19日（土）
2. 実施店舗：ヤマダ電機 テックランド青葉店
（神奈川県横浜市青葉区）
3. 検証目的：
 - ・店舗従業員への業務支援貢献度を確認
 - ・自律移動型サービスロボットに対するお客さまからの評価を確認
4. 検証内容：
 - ・お客さまの質問や要望に応じて商品の売場や店内施設を自律移動しながら目的の場所まで案内
 - ・店舗のおすすめ商品をツアー形式で自律移動しながら店内を案内



©2016 日本ユニシス株式会社

デジタルイノベーション

【公共】 訪日外国人観光客向けフリーWi-Fiポータルサイト「WAKAYAMA FREE Wi-Fi」を和歌山県から受託

～ 県内のフリーWi-Fi認知向上・利用促進で、和歌山県への観光客誘致を目指し ～

- ポータルサイト「WAKAYAMA FREE Wi-Fi」 <https://wifi.visitwakayama.jp/jp/>



<PC用>



<iPhone用>

●特徴

1. 和歌山フリーWi-Fiを設置する施設で、Wi-Fiに接続すると当該ポータルサイトに接続することが可能
2. 和歌山フリーWi-Fiスポットの検索、施設までのルート検索、施設情報の照会が可能
3. 9言語に対応
日本語、英語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）、韓国語、タイ語、インドネシア語、フランス語、スペイン語
4. PC、スマートフォン（Android及びiOS対応機器）、タブレットなどでの閲覧が可能
Internet Explorer®（11以降）及びGoogle Chrome®、Firefox®、Safariなどの最新版、OS（バージョン）は、Windows®（Vista、7、8.1、10）、Mac OSX（最新バージョン）、iOS（8.0以上）、Android（4.2以上）に対応

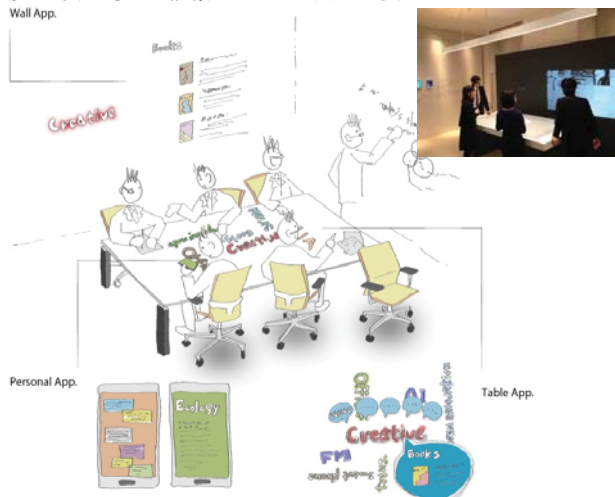
©2016 日本ユニシス株式会社

デジタルイノベーション

日本ユニシス&イトーキ 共同研究成果の第2弾公開 会議空間そのものが「もう一人の参加者」になる 「近未来オフィス空間」を目指して

日本ユニシスの人工知能（AI）技術と、イトーキの
オフィス・デザインの知見の融合をさらに進めることにより、
会議室自らが能動的に判断・行動・学習する機能を充実
させ、会議体験を総合的に支援

会議参加者の発話量や対話の順番、内容の多様さなどから、
AIがその場の状態を読み取り、
その場に必要と考える情報リソースを選んで表示

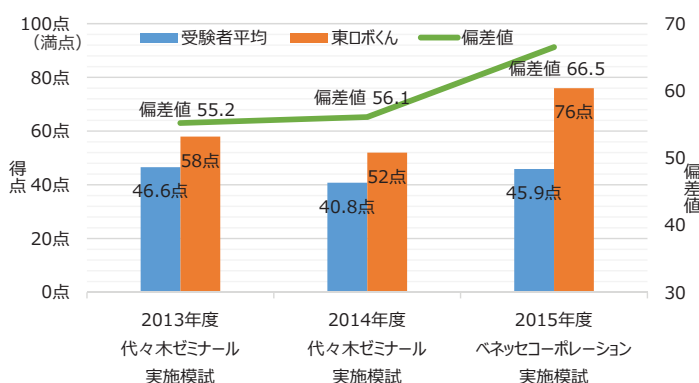


©2016 日本ユニシス株式会社

国立情報学研究所(NII) 人工知能プロジェクト 「ロボットは東大に入れるか」 センター試験模試「世界史B」で好成績

日本ユニシス総合技術研究所は「進研模試 総合学力
マーク模試」の世界史Bに挑戦。複数の自然言語処理
手法に基づき、試験問題に適した形で解法を定式化し、
平均点を30点上回る76点（偏差値66.5）を達成

過去2年間の受験結果との得点比較（世界史B）



※日本ユニシスの成績は2015年度の「東ロボくん」の成績のみ

- 事実型質問応答技術の適用
- 照応解析を含めた、構文木の類似度評価
- 単語の共起確率
- アンサンブル学習による解答

(敬称略)

クラウド型保育支援サービス「ChiReaff Space®」を保育所に提供

「保育の質」向上と保育士の労働環境改善を両立

子どもの「今」を知ることで、その子に必要な保育を実現します。



- 子どもの成長の記録をタッチパネルで簡単に記録
- 全国40,000人の園児の成長データから、今の子どもの成長を把握
- 子どものために何をすればいいかわかる

- 保育士の事務作業をサポート
- 園児の成長データを基に指導計画の素案を自動作成。計画作成時間が短縮
 - 保育計画の中身を考える時間が増える
 - 保育の質が向上する
 - 働くお母さんが安心安全に預けられる保育園へ



事務作業の効率化と保育の質の向上を実現

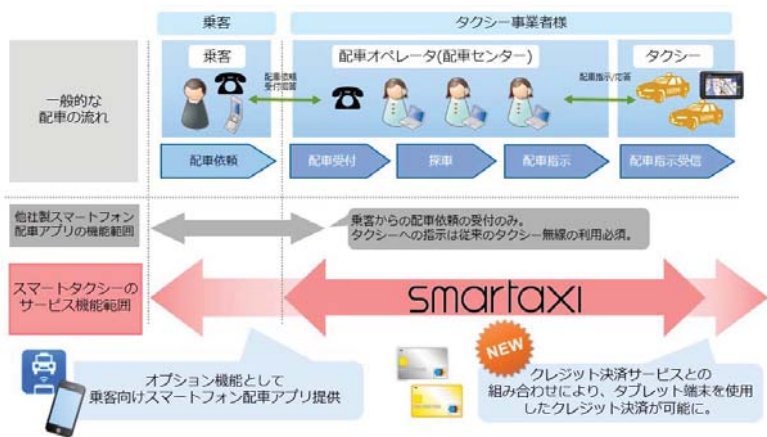
- | | |
|-------------|---------|
| 発達記録／園児カルテ | 指導計画の策定 |
| 出欠管理 | シフト管理 |
| 請求管理 | アレルギー管理 |
| 出欠登録(登園パネル) | お知らせ機能 |

©2016 日本ユニシス株式会社

ライフイノベーション

【製造流通】 Android®スマートフォンを利用したクラウド型タクシー配車システム「smartaxi®」

タクシー配車の仕組みを「タブレット」と「クラウドサービス」を利用して実現
～乗客の配車リクエストからタクシー車両への配車指示までの完全自動配車をクラウドで実現しました～



- デジタル無線導入と比較し、初期導入費用を大幅に削減
- クラウドでの提供により、月額課金制で利用可能
- 携帯電話回線を利用するため、不感地帯が少ない

- 2011年11月 業界最大のKmグループで稼働開始
- 2012年8月 地方タクシー会社向け機能を追加し、福島貸切辰巳屋自動車で稼働開始
- 2013年3月 乗客向けスマートフォンアプリ提供開始



- 2014年4月 中部地区初、豊栄交通岡崎で稼働開始
- 2014年12月 山陰地区初、皆生タクシーで稼働開始 九州地区初、大橋タクシーで稼働開始
- 2015年8月 配車アプリに新機能、エコタクシーで稼働開始
- 2016年4月 中国地区初、吉島タクシーで稼働開始

©2016 日本ユニシス株式会社

【公共】 初期投資ゼロ！月額2,980円から すぐに利用できる携帯通信型のドライブレコーダ 「無事故プログラムDR®」 販売台数約2万台！！

車両を利用するお客様企業の課題

- 事故を減らしたい。保険料を下げたい。
- 車両管理にかかる負担が大きい。
- 燃料費を抑えたい。CO2削減・エコ対応

これらの課題を解決
企業価値の向上
広く社会に貢献する企業へ

無事故プログラムDR

- 住宅設備機器総合商社の小泉にて約1,300台の配送トラックと営業車に導入
- インドネシアにおけるフィールドテストを実施
- 2014年4月 無事故プログラムDR 新機能をリリース
 - ①動画通信機能(オプションメニュー)の新設
危険運転および車載器のボタンを押した際の緊急通報について、6秒間の動画をリアルタイムに通知
 - ②静止画通信機能の改良
危険運転に添付される静止画の枚数を1枚→6枚に
 - ③動感通信機能(オプションメニュー)の改良・・・など

無事故プログラムDR 関連サービス

2013年5月
業界初のクラウドで提供する「**踏切監視サービス**」を本格展開

2013年9月
日本気象協会、日本ユニシス クラウドと携帯通信環境で提供する、**災害監視カメラサービス「サイカメラZERO®」**を販売開始

2013年10月
堀場製作所、日本ユニシス 車両運行管理、テレマティクス分野での協業を開始

運用負担が少なく、継続できる さまざまなメニューを提供

とにかく映像が重要！！ 映像関連メニュー	個別の詳細な乗務状況を見て指導したい 社員個別の詳細な運転状況を把握するメニュー
社員一人一人のデータを個別にみるのは負担大 組織単位・企業単位の運転状況を把握するメニュー	運用の負担を抑えて、さらに可視化したい 3G動画送信、動態管理メニュー

運用継続により実現できるコスト削減

- 事故処理コストの削減
- 保険料の削減
- 燃費の向上
- 車両の削減
- 車両管理コストの削減

(敬称略)

©2016 日本ユニシス株式会社

【公共】 電気自動車（EV）充電インフラシステムサービス 「smart oasis®」 通信型EV充電器への採用数業界No.1

電気自動車（EV）・プラグインハイブリット車（PHV）の充電インフラを利用するための
利用者認証機能や課金機能、充電装置の位置情報・空き情報を提供するシステムサービス

2015年8月	・日本ユニシス、ユビテック 神戸市でワンウェイ方式のマルチポート型カーシェアリングサービスを開始
2015年3月	・スマートフォンで全国の充電器施設情報が検索できるアプリ「全国EV/PHV 充電マップ」を提供
2014年11月	・トヨタメディアサービス、豊田自動織機と3社でEV/PHV利用促進プラットフォーム実証事業を展開
2014年9月	・日本ユニシス、ユビテック、ジョルダン、日産カーレンタルソリューション 函館市での電気自動車(EV)カーシェアローミングサービス実証実験を実施 ・充電器1,000台による充電インフラネットワークの構築を達成 (2016年4月現在、約4,200台)
2013年度	・名神高速道路などNEXCO西日本管内急速充電サービスにシステム提供 ・自治体向け「充電インフラマップ」無償提供開始
2011年度	・コンビニエンスストア7社店舗での急速充電サービスにシステム提供
2010年度	・他社システムとの連携を開始 ・東名高速道路で充電サービスの課金・決済サービスの提供を開始
2009年度	・充電インフラシステムサービスの提供開始（青森県、大阪府、石油元売※） ※石油元売：原油を精製して石油製品として販売する会社

■ smart oasis 充電スタンド検索

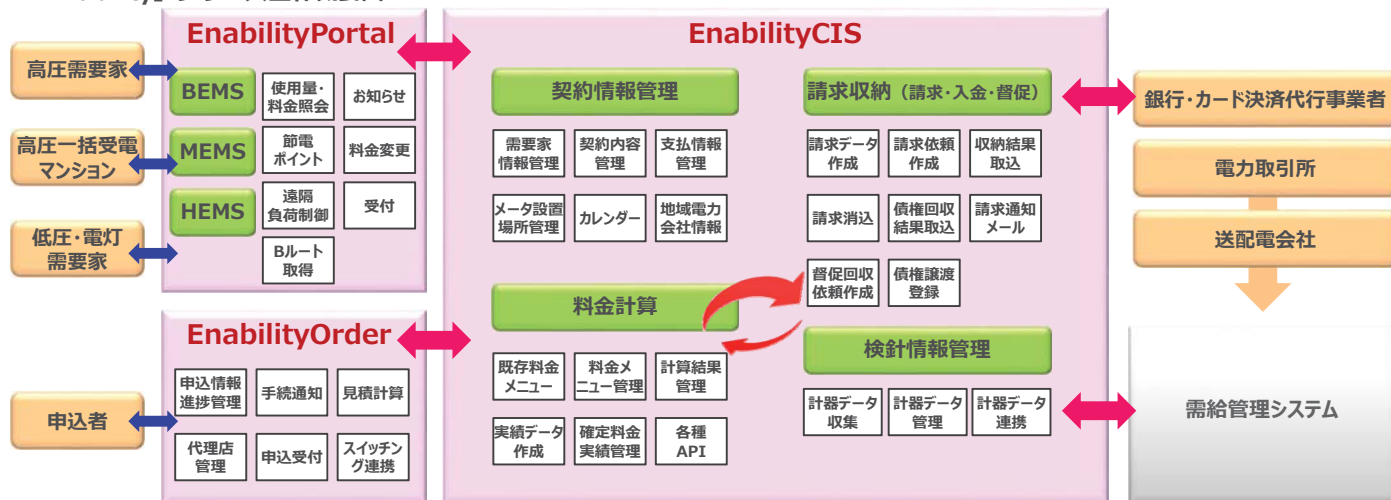
©2016 日本ユニシス株式会社

ライフイノベーション

【公共】 電力小売事業者向けクラウドサービス「Enability®」シリーズ ～ 電力小売事業者の業務をクラウドサービスで支援 ～

- 2016年4月の電力小売全面自由化にあわせ、新電力や高圧一括受電事業者に向けて販売中
- 各電力会社の主な電気料金メニューがプリセットされているほか、収集した電力使用量に応じた電気料金の計算から顧客情報の管理までをクラウドサービスとして提供することにより、情報システム構築のコストの軽減と短期導入が可能
- 新たに電力小売に参入する新電力や高圧一括受電事業者などの事業リスクを低減

■ 「Enability」シリーズ全体概要図



【金融】

金融機関向けに

「FinTech分科会」及び「Financial Foresight Forum」を開催

- ・ 2016年1月15日 「FinTech分科会」を開催。予想を超える多くのお申し込み、60名超が参加
- ・ 2016年4月26日 名前を新たに「Financial Foresight Forum」を開催。1回目をを超える多くの金融機関が参加



FinTech分科会
FinTechの展望について講演する
マネーツリー株式会社のマーク マクダッド氏



Financial Foresight Forum
株式会社MFS、株式会社お金のデザイン、
コイニー株式会社、株式会社ZUU、
大日本印刷株式会社、日本マイクロソフト株式会社
などから金融機関との連携やFinTech分野における
取り組みについて講演

次世代オープン勘定系『BankVision®』の新たなAPI連携サービスの企画推進中

©2016 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

ビジネスICTプラットフォーム

【金融】

世界初、Windows®ベースのフルバンキングシステム

「BankVision®」

地方銀行における基幹系オープンシステムとして 国内ITベンダートップの10行で採用。9行で安定稼働中

2007年5月 日本経済新聞掲載

- | | |
|----------|-----------|
| ① 百五銀行 | ■ 2007年5月 |
| ② 十八銀行 | ■ 2009年1月 |
| ③ 筑邦銀行 | ■ 2010年1月 |
| ④ 紀陽銀行 | ■ 2010年5月 |
| ⑤ 佐賀銀行 | ■ 2010年5月 |
| ⑥ 山梨中央銀行 | ■ 2011年1月 |
| ⑦ 鹿児島銀行 | ■ 2011年5月 |
| ⑧ スルガ銀行 | ■ 2014年1月 |
| ⑨ 北國銀行 | ■ 2015年1月 |
| ⑩ A銀行 | ■ 導入中 |

■ 本番稼働時期

©2016 日本ユニシス株式会社

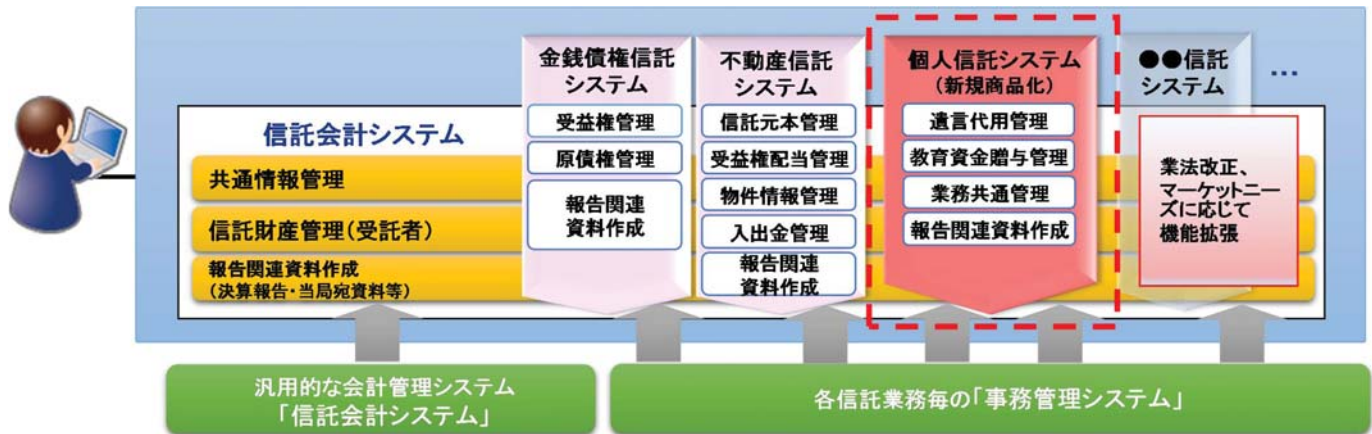
ビジネスICTプラットフォーム

【金融】

相続・贈与関連業務を支援する 「個人信託システム」の開発を開始 信託業務ソリューションTrustPORT®シリーズのラインナップを拡充

個人信託システムの第一弾として、遺言代用信託などに対応するシステムを提供予定
専門的な個人信託サービスの提供を特色とする株式会社朝日信託での採用が決定

■TrustPORT®シリーズ



個人の資産の相続・贈与における信託商品ニーズの高まりを受け、TrustPORTシリーズとして個人信託業務（遺言代用信託など）に対応したソリューションを提供（対象となる信託業務および対象商品は今後拡大予定）

- 遺言代用信託などの業務管理負荷を軽減
- 制度対応モジュールの提供
- 要望に合わせた2種類の導入形態に対応（早期導入が可能なASP方式、システムの独自性確保に対応可能なパッケージ方式）

©2016 日本ユニシス株式会社

ビジネスICTプラットフォーム

信用金庫向け勘定系システム「SBI21」が 横浜信用金庫にて稼働開始

横浜信用金庫

地域のお客さまへきめ細かいサービスを提供し
地域経済への貢献を目指す

「自由度とスピード感のある戦略の遂行」
「システムの共通化・共同化による経営資源の最適化」
「災害時の業務継続体制の確立」を実現するために、
日本ユニシスが提供する信用金庫向け勘定系システム
「SBI21」によるアウトソーシングサービス採用を決定
2016年1月4日から本番稼働を開始

- 地域のお客さまへのきめ細かいサービスの提供
共同システム基盤上で「SBI21」を稼働させ、金庫個別の
要望への対応を可能とするため、経営戦略の遂行や業務運営
における自由度とスピードを損なうことなく、
地域のお客さまへのきめ細かいサービスの提供を実現
- 経営資源の最適化による戦略的な分野への重点的対応
開発や改修の負荷削減、システム運営にかかるリソースの
効率化により、経営資源を戦略分野への対応に集中させる
ことが可能。競争力向上や戦略遂行のスピード向上を実現
- 災害時の業務継続体制の確立
平時からメインセンターとバックアップセンター間でデータ
を転送、大規模災害などの際にも迅速な業務立ち上げが可能

©2016 日本ユニシス株式会社

勘定系システム「SBI21」における ICキャッシュカード店頭即時発行対応が 埼玉信用金庫にて採用

埼玉信用金庫

信用金庫業界での採用は全国初
2016年度中に全96営業店で導入予定

- 申し込み後すぐにICキャッシュカードの利用が可能
営業店に設置したICカード発行機でICキャッシュカード
を発行し、その場でお客さまにお渡し
- 再発行もすぐに
再規口座開設時だけでなくカードの紛失や破損、磁気情報
消失などによる再発行の場合にもすぐに再発行対応ができる
ため、お客さまがATMを利用できない期間を短縮化
- 生体情報の登録もその場で
セキュリティを高める生体情報の登録についても再度来店
することなくその場で可能となり、お客さまの利便性と
セキュリティの向上に寄与
- 印鑑レス取引も予定
埼玉信用金庫では、ICキャッシュカードの店頭即時発行
によって生体情報登録率の向上を推進し、印鑑の代わりに
生体情報による本人確認を行う印鑑レス取引も計画、
日本ユニシス提供の営業店システム「BANK_FIT-NE®」と
連携して対応

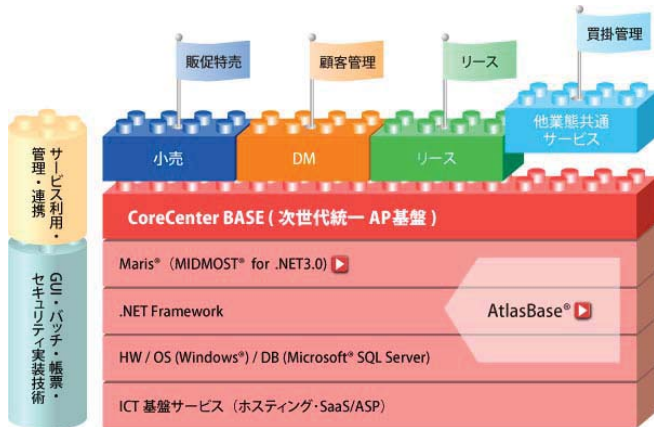
(敬称略)

ビジネスICTプラットフォーム

【製造流通】

次世代統一基盤 『CoreCenter®』

～ 各業界向けの業務別システムをコンポーネント化し、短期間・低コスト・高品質での導入を実現～



- 長年にわたる多くの基幹システムの構築・提供で培った知財を投入したコンポーネントを用意
- 各業種向けサービスの相互利用が可能
- SOA※を基本としたコンポーネント構造
- Web技術によりクラウド環境での稼働も可能



時代の変化に素早く対応し、競争優位を実現

※SOA : Service-Oriented Architecture (サービス指向アーキテクチャ)

- 2012年 3月 トーホーストアの新基幹システムが「CoreCenter for Retail」で稼働開始
- 2013年 10月 リース業向け次世代基幹システム「Lease Vision® (CoreCenter for Lease)」を販売開始
- 11月 流通業向けタブレットソリューション「CoreCenter Tablet」検証開始
- CoreCenterシリーズ 食品S M向け 非接触型惣菜電子マニュアル 検証開始
- 2014年 1月 次世代通販ソリューション「CoreCenter for DM」を販売開始
- 2015年 3月 次世代通販ソリューション「CoreCenter for DM」が日本盛で稼働開始

©2016 日本ユニシス株式会社

異業種連携で新事業・新サービスを創出

DNP × UNISYS

DNPとの連携によってお客様のその先のお客様へ両社で新たな価値を提供します

連携状況

～2015

2016

～2017

販売連携による新たな価値の提供

- ・ ITソリューション領域の連携拡大
- ・ 連携事業セグメントの拡大

サービス事業基盤推進 (DNP柏DC稼働開始)

- ・ DNPのMGクラウドとNULのU-Cloudの運用を統合
- ・ 統合メニュー整備による両社クラウドの連携

新事業・新サービスの開発/展開 (マーケティングプラットフォーム共同戦略)

- 3月～ 海外向けハウスプリペイドカード運用サービス
- 4月～ 決済プラットフォームサービス
- 10月～ CLOサービス

グローバル展開

連携テーマ

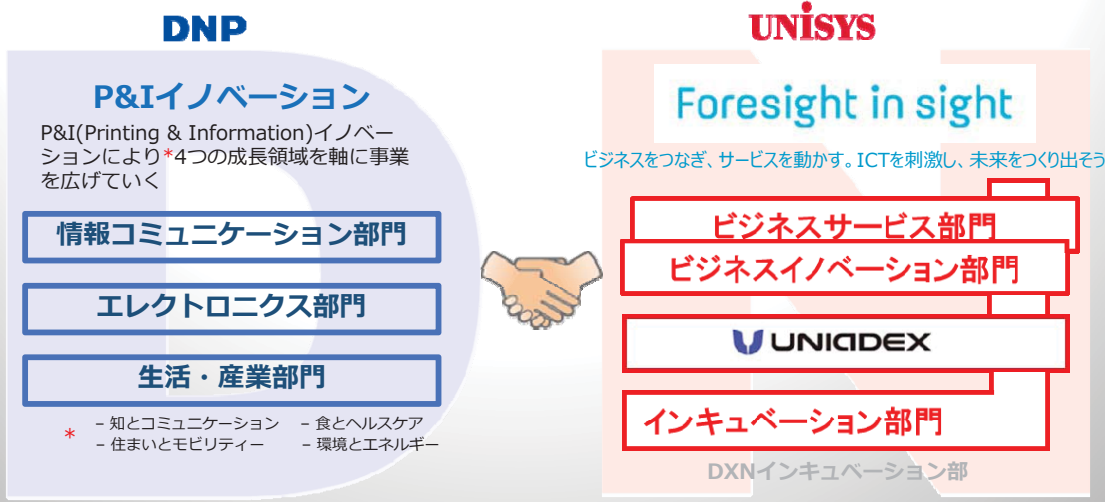


©2016 日本ユニシス株式会社

DNPとの連携を強化/加速し、両社の企業価値向上へ

サービスメニュー化
 決済サービス事業運営やECサイトの知財を元に、利用者視点のマーケティングサービスや顧客設定を最適化するサービスをメニュー化
 (事例)電子バリューカード、ミラノ万博でのマーケティングサービス、ECシステム構築

プラットフォームの運営
 ミッションクリティカル基盤実績を活用し、IoTを実現するデータ分析・統合サービス
 スマートデバイス・クラウド連携などのプラットフォームを運営



©2016 日本ユニシス株式会社

大日本印刷と日本ユニシス 主な提携関連ニュース

(2015年9月～2016年3月)

- 2015年9月

新事業サービス

日本ユニシス・DNP・イズミ 国内初のCLOサービスを活用した新たなキャンペーン手法を試行
 ～ 「ゆめタウン」と「ゆめマート」113店舗で10月1日に開始 ～

デジタルイノベーション
- 2015年10月

販促マーケ

日本ユニシスとDNPが「FIT2015金融国際情報技術展」へ共同ブースで出展

セッション - 「決済連動マーケティング」とは
 ～決済を起点とした新たなマーケティング手法
 展示 - DNP × 日本ユニシス 共創ビジネスと連携事例の紹介
 - 決済連動マーケティング事業
- 2015年12月

新事業サービス

スマートフォン向けアプリを提供した「ミラノ国際博覧会 日本館」が金賞受賞
 ～ 2020年に向けインバウンドビジネスを目指す日本企業、自治体にも提供 ～
- 2016年1月

新事業サービス

日本ユニシスとDNPが多様なキャッシュレス決済を実現する「国際ブランドプリペイド」の決済プラットフォームサービスを提供
 ～ 国内初、発行・決済システム構築からカード製造、業務受託、マーケティングまでのワンストップサービス ～

デジタルイノベーション
- 2016年3月

新事業サービス

日本ユニシスとDNPが「国際ブランドデビット 決済サービス」の提供を開始
 ～ 北國銀行のVisa payWave®付きデビットカード「北國Visaデビットカード™」で採用 ～

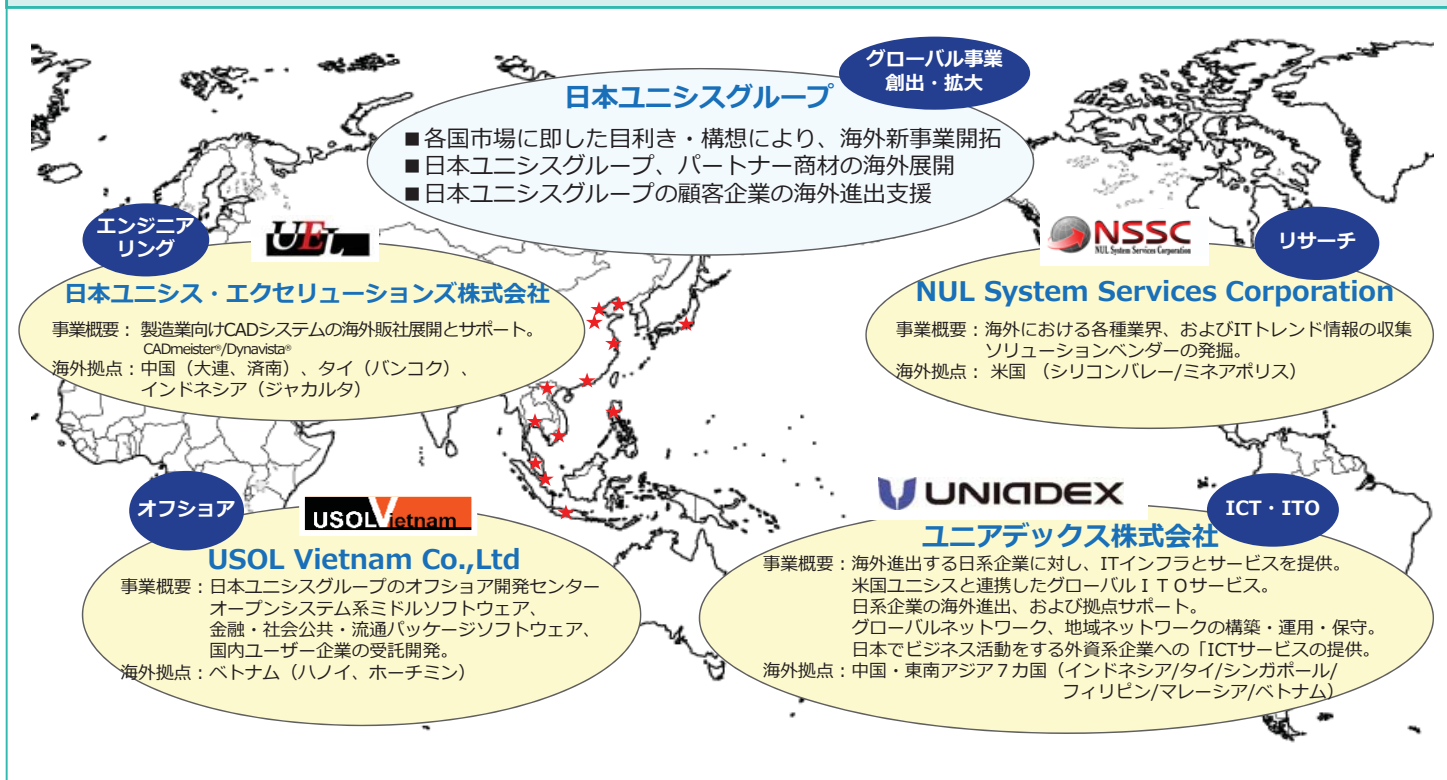
デジタルイノベーション

(敬称略)

©2016 日本ユニシス株式会社

日本ユニシスグループ グローバル関連ビジネスの取り組み

2016年度 グループ各社の密接な連携により、新たな事業領域を開拓



©2016 日本ユニシス株式会社

日本ユニシスグループ クラウド関連ビジネスの取り組み

「ICTの最適化を実現できるNo.1パートナー」として
 クラウド分野でのお客様のICT活用高度化を総合力で支えます



U-Cloudを軸とした価値創造基盤【Service Platform】

クラウドのようなサービス利用型の普及に伴い、モバイルや高度セキュリティに対応した第3のプラットフォームが望まれています。IoTやビッグデータによって多様化するデジタルエコノミー領域に向け「Service Platform」を提供します。

マルチ/ハイブリッドクラウド環境 適正化支援	統合運用管理	認証環境	サービス開発支援環境	ビジネスサポートシステム
---------------------------	--------	------	------------	--------------

クラウドフェデレーション



©2016 日本ユニシス株式会社

ユニアデックス

一定の利便性を担保しつつ情報漏洩を防止する情報セキュリティ対策として「インターネット分離」が最も有効な手段として注目

「自治体向けインターネット分離ソリューション」パッケージを販売開始

「インターネット分離」とは、仮想化技術とファイアーウォールを用いて、ネットワークをインターネットアクセス用と業務用に分離すること。

両者間の通信は画面転送のみに限定。標的型攻撃や危険サイトへのアクセスによる、業務用ネットワーク側へのマルウェアの侵入を防ぐことが可能になる。

◆ 自治体の規模に合わせ、2つのモデルを提供 ◆

1. 県庁および政令指定都市向けモデル

ファイアーウォールを仮想マシンごとに設定。電子メールとWeb閲覧セグメントを分離させ、利便性を損なうことなく、情報系システムを標的型攻撃から守る。



2. 市町村向けモデル

インターネット関連業務（電子メールとWeb閲覧）を同一セグメントに集約。ターミナルサーバーを利用して、情報系端末にアプリケーションを公開し、情報系システムを高度標的型攻撃から守る。

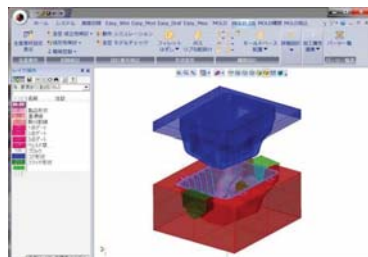


©2016 日本ユニシス株式会社

日本ユニシス・エクセリユーションズ

3次元統合CAD/CAMシステム 「CADmeister®」バージョン V10.0を提供開始

- 2005年7月に「CADmeister V1.0」として提供開始以来、国産唯一の3次元統合CAD/CAMシステムとして金型メーカーを中心に累計で30,000シート以上採用
- 今回リリースするV10.0では、全体的にはレスポンスの5%以上向上や、面や立体のモデリング時のプレビュー表示を改善することで視認性の向上を実現



【CADmeisterの画面】

1日単位で利用可能なOne Day Licenseもオンラインストア「UEL Store」で提供開始
CADmeisterを「使いたい時に、使いたい期間分だけ、使いたいPCで」

©2016 日本ユニシス株式会社

ポリゴン編集ソフト 「POLYGONALmeister®」シリーズを販売開始

特徴

- 熟練を要するパラメーター値を自動で初期設定
- windowsソフトに準拠したインターフェース
- わかりやすい日本語メニュー

主な機能

- クリーニング：データ・エラーの自動修正
- 簡略化：形状特性を維持したまま、メッシュ数を削減
- スムージング：必要なエッジ部分をのこしたままざらついた表面をスムーズに

「POLYGONALmeister」ラインナップ

- Editor：クリーニング、簡略化、スムージングなど、すべての機能
- Cleaner Plus：クリーニング機能と簡略化機能
- Cleaner：クリーニング機能
- Simplifier：簡略化機能



【POLYGONALmeister Editorの画面】

©2016 日本ユニシス株式会社

「働きがいのある会社」調査 ベストカンパニーに選出

Great Place To Work® Instituteが主催する、
2016年「働きがいのある会社」ランキング(従業員25~99名部門)において、
第2位に選出



GPTW2016表彰式の模様 (2016年2月23日、新宿・ハイアット・リージェンシー)



©2016 日本ユニシス株式会社

企業風土・人材改革 トピックス

総務省が選定する「テレワーク先駆者百選」に認定

日本ユニシスの在宅勤務制度(2008年6月開始)が、2016年4月1日、総務省が選定する「テレワーク先駆者百選」に認定



「テレワーク先駆者百選」とは

テレワークの更なる普及促進を図るため、テレワークを導入・活用し、特にテレワークの対象規模の拡大や実施率の向上などを積極的に推進している企業や団体などを、総務省が認定する取り組み。

©2016 日本ユニシス株式会社

多様な働き方に対応した業務環境を整備

中期経営計画「Innovative Challenge Plan」の重点戦略、企業風土・人材改革の施策「働き方の変革」の取り組み

スマートデバイスを活用したモバイルワークの本格運用を開始

日本ユニシスグループ社員約8,000名を対象に、事業所外からでも、スマートフォン/タブレット端末から社内システムが利用可能なモバイルワークの本格運用を実施。クラウド型モバイルアクセスゲートウェイサービス「mobiGate® (モビゲート)」を活用



サテライトオフィスを新設

5月中旬の大手町オフィスを皮切りに、新宿、丸の内、60~120名規模のサテライトオフィスを開設。

**日本ユニシスグループ
主なニュースリリース
(2015年11月～2016年4月)**

主なニュースリリース（2015年11月～2016年4月）

2016年4月末 現在

	発表日	内 容
1	11月9日	<p>日本ユニシス、イトーキ 近未来オフィスにおける協創的コミュニケーション共同研究成果 第2弾のコンセプトとプロトタイプを公開 ～ 会議室自らが能動的に判断・行動・学習する「人工知能を融合した会議支援空間」～</p>
	デジタル イノベーション	<p>日本ユニシスとイトーキは、協創的コミュニケーションを支援する仕組みの共同研究『近未来オフィスU&I空間プロジェクト』を2014年11月から進めています。 本プロジェクトは、より高い創造性を発揮する近未来オフィス空間の構築を目的としており、2014年11月に公開したコンセプトとプロトタイプ（試作）をさらに進化させた第2弾（プロトタイプII）を本日から公開します。</p>
2	11月11日	<p>ユニアデックス シュナイダーエレクトリックの「Smart-UPS」の自営保守サービスを提供開始 ～ エネルギーマネジメント分野でも連携し、事業継続を支援 ～</p>
	ビジネスICT プラットフォーム	<p>ユニアデックスとシュナイダーエレクトリックは、ユニアデックスが販売するシュナイダー製品「Smart-UPSシリーズ」の「自営保守サービス」を提供していくことで合意し、本日から提供開始します。</p>
3	11月12日	<p>日本ユニシス、SCSK 新日銀ネット第2段階の運用開始に対応した新バージョンを稼働開始 ～ 日本ユニシス 日銀決済管理ソリューション「Siatol®-SS/GS」とSCSK 新日銀ネットコンピューター接続ソリューション「BOJGW®」を高度化して提供 ～</p>
	ビジネスICT プラットフォーム	<p>日本ユニシスとSCSKは、日本銀行が2015年10月13日より運用を始めた新しい日本銀行金融ネットワークシステム（以下 新日銀ネット）の第2段階に対応した日銀決済管理ソリューション「Siatol-SS/GS」と日銀ネットコンピューター接続ソリューション「BOJGW」を稼働開始しました。</p>
4	11月16日	<p>日本ユニシス 地方銀行向け「リテール戦略研究会」でのFinTechに関する分科会開催を決定 ～ 次世代オープン勘定系『BankVision®』の新たなAPI連携サービスの企画も着手 ～</p>
		<p>日本ユニシスは、地方銀行向け「リテール戦略研究会」の分科会として、「FinTech分科会」の開催を決定しました。 リテール戦略研究会は、「次世代オープン勘定系システム『BankVision』」の利用行を中心に2008年に発足し、参加各行のリテール戦略の高度化に資することを目的に、EBMやタブレット活用の研究など、幅広い活動を実施してきました。近年、決済業務の高度化など、地方銀行を取り巻く環境は大きく変化しています。その流れを受け、日本ユニシスでは、リテール戦略研究会「FinTech分科会」の開催を決定しました。 日本ユニシスではオープン勘定系システム『BankVision』のサービス指向型の考え方を取り入れた構造と、その豊富な導入実績を活かして、新たなAPI（Application Programming Interface：アプリケーション・プログラミング・インターフェイス）連携サービスの企画にも着手しています。</p>
5	11月16日	<p>国立情報学研究所(NII)、日本ユニシス 日本ユニシスがセンター試験模試「世界史B」で好成績 ～ NII人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」～</p>
	デジタル イノベーション	<p>国立情報学研究所が取り組む人工知能(AI)プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」の本年度の研究活動に参加した日本ユニシスは、株式会社ベネッセコーポレーションから本プロジェクトに提供された「進研模試 総合学カマーク模試」の世界史Bに挑戦し、平均点を30点上回る76点(偏差値66.5)という好成績を収めました。 今回、既存の自然言語処理の手法をセンター試験の世界史に適応した形で再定式化し、これまでにない高得点を獲得することができました。</p>

発表日		内 容
6	11月27日	<p>日本ユニシス 全国初の手形管理業務共同化に続く共同化事業の第二弾として、静岡県信用金庫協会と、静岡県内 12 信用金庫「口座振替依頼書登録業務の共同化」へサービス提供を開始 ～ 提供中のシステム基盤環境を有効活用し、事務業務を BPO サービスとして受託することで、静岡県内 12 信用金庫の更なる業務効率化・コスト削減に貢献 ～</p>
	ビジネス ICT プラットフォーム	<p>日本ユニシスは、静岡県信用金庫協会と、静岡県内 12 信用金庫(以下「県内 12 信金」)の共通事務を一元化する「信金静岡共同センター」で実施する、口座振替依頼書登録業務のシステム基盤環境と事務業務サービスを提供開始しました。2015 年 11 月 27 日から実施を始め、2016 年 6 月までに県内 12 信金すべてに展開予定です。</p>
7	12月3日	<p>日本ユニシス スマートフォン向けアプリを提供した「ミラノ国際博覧会 日本館」が金賞受賞 ～ 2020 年に向けインバウンドビジネスを目指す日本企業、自治体にも提供 ～</p>
		<p>日本ユニシスは、「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマにイタリア・ミラノで開催された「2015 年ミラノ国際博覧会」の日本館に協賛し、国際万博の日本館として初めての試みとなるスマートフォン専用のアプリを提供しました。この日本館は自然と技術の調和が評価され、博覧会国際事務局 (BIE) が主催するパビリオンプライズの展示デザイン部門において「金賞」を受賞しました。登録博覧会 (5 年ごとに行われる大規模な万博) における日本館の「金賞」受賞は史上初の快挙です。</p>
8	12月7日	<p>日本ユニシス 国債 T+1 対応の保振・決済照合事務支援ソリューション「Preseak®21」開発開始 ～ 保振・決済照合システムの新接続方式にも全面対応 ～</p>
	ビジネス ICT プラットフォーム	<p>日本ユニシスは、2018 年上期に実施が予定されている「国債取引の決済期間短縮化 (国債 T+1)」に向けた開発に着手しました。また、証券保管振替機構が運営する「決済照合システム」とのオンラインリアルタイム処理接続の新方式である JEXGW 接続方式、および通信メッセージの新タイプである ISO20022 に対応した保振・決済照合事務支援ソリューション「Preseak21」の販売を開始しました。</p>
9	12月7日	<p>ユニアデックス、ピュア・ストレージ 垂直統合型ソリューション「FlashStack CI」の国内提供開始 ～ 販売から、導入・構築、運用・保守サービスまでトータルで提供 ～</p>
	ビジネス ICT プラットフォーム	<p>ユニアデックスとピュア・ストレージ・ジャパンは、ピュア・ストレージのコンバージド・インフラストラクチャ・ソリューション (以下 垂直統合型ソリューション) である「FlashStack CI」の国内提供において協業開始します。ユニアデックスは「FlashStack CI」の販売および 24 時間 365 日の保守サービスを本日から提供します。</p>
10	12月8日	<p>日本ユニシス 地域金融機関におけるフロントチャネル系システム分野の販売力を強化・拡大 ～ 山梨中央銀行の全店タブレット端末導入を支援 ～</p>
	デジタル イノベーション	<p>日本ユニシスは、山梨中央銀行におけるタブレット端末全店展開の実績を受け、従来強みをもつ地域金融機関のバックシステム構築に加え、フロントチャネル系システム分野での販売を強化します。当社ユーザーはもとより、他社ユーザーである地域金融機関からの受注を目指します。 日本ユニシスは山梨中央銀行に対し全営業店でのタブレット端末導入を提案、4 ヶ月という短期間で当社のスマートデバイスソリューション「BankersSuite®」を基に利用基盤を構築し、同行の金融商品などのセールス体制強化を全面的に支援しました。</p>
11	12月10日	<p>日本ユニシス 米 Fellow Robots 社の自律移動型サービスロボットの取り扱いを開始</p>
	デジタル イノベーション	<p>日本ユニシスは、米 Fellow Robots 社 (本社 : 米国カリフォルニア州、CEO : Marco Mascorro 氏) が開発・提供する自律移動型サービスロボットの取り扱いを開始します。この自律移動型ロボットは、店舗を訪れるお客さまに対して、商品やサービスを提供する場所を提示・案内します。また、在庫やお客さまの行動などの情報を収集するといった、店舗従業員の作業支援を行います。</p>

発表日		内 容
12	12月11日	日本ユニシス 「一般社団法人クラウド活用・地域 ICT 投資促進協議会」活動に参画 ～ 地域金融機関と連携して、地域創生ビジネスを積極的に推進 ～
		日本ユニシスは、本日設立された「一般社団法人クラウド活用・地域 ICT 投資促進協議会」の活動に参画し、安倍政権の重要政策である地方創生を本格的に推進するため、地域の ICT 利活用に貢献していきます。具体的には、地域金融機関と連携して小・中規模事業者に対しクラウドサービスなどの ICT 投資推進を支援し、小・中規模事業者の生産性、収益性の大幅な向上に寄与することを目指します。
13	12月14日	日本ユニシス ユニシス技報 通巻 126 号「特集：ネットワークⅢ」を発行 ～ 長距離光通信、仮想化、無線 LAN などの最新技術とソリューションを紹介 ～
		日本ユニシスは、ユニシス技報 通巻 126 号「特集：ネットワークⅢ」を発行しました。ユニシス技報は、お客さまが抱える経営上の課題や技術的な問題を、日本ユニシスグループが情報技術を活用して実際に解決した方法や努力、成果について紹介する論文誌で、1981年に創刊し、1987年以降は年4回発行しています。本特集号では、通信事業者のネットワークインフラ技術やデータセンターでのネットワーク仮想化、無線 LAN 規格、標的型攻撃対策、スマートデバイスのセキュリティ、ユニファイド・コミュニケーションに関する技術やソリューションとシステム構築の事例を紹介します。
14	12月15日	日本ユニシス 島根県松江市でメッシュ型地域通信ネットワークの実証実験を開始 ～ 市役所外からのアクセス、自治体間の情報連携のためのセキュリティ実証実験を実施 ～
	ライブ イノベーション	日本ユニシスは、島根県松江市でメッシュ型地域通信ネットワークの実証実験を開始します。NerveNet のセキュリティの観点で、市役所外からのイントラネットへの安全なアクセスと、自治体間の安全な情報連携の実証実験を通じて、行政サービスの向上や地方創生を目指します。
15	12月17日	トヨタメディアサービス、豊田自動織機、日本ユニシス EV/PHV 複数台充電器の連動による充電予定時間に応じた最適充電の実証開始
	ライブ イノベーション	環境省から、「EV/PHV 利用促進プラットフォーム事業」の「平成 27 年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」推進企業として採択を受け、3社は本年7月から実証事業を開始しており、12月19日からは複数台充電器の電力制御についての実証を開始します。
16	1月8日	日本ユニシス 信用金庫向け勘定系システム『SBI21』が横浜信用金庫で稼働開始 ～ 地域のお客さまへきめ細かいサービスを提供し、地域経済への貢献を目指す ～
	ビジネス ICT プラットフォーム	日本ユニシスは、横浜信用金庫の次期勘定系システムを開発・導入し、2016年1月4日から本番稼働を開始しました。横浜信用金庫では、お客さまに質の高いサービスを円滑に提供し、地域経済の活性化と地域社会の発展に貢献することを目指し、「自由度とスピード感のある戦略の遂行」、「システムの共通化・共同化による経営資源の最適化」、「災害時の業務継続体制の確立」を実現するために、日本ユニシスが提供する信用金庫向け勘定系システム『SBI21(エス・ビー・アイ 21)』によるアウトソーシングサービス採用を決定しました。
17	1月12日	日本ユニシス ロケーション・メディアサービス「LoMeS®」において、 キュレーションマガジン antenna* [アンテナ] と提携を開始 ～ ANA の国内線・国際線が就航する全国 14 空港 25 箇所のラウンジで展開 ～
	デジタル イノベーション	日本ユニシスは、ロケーション・メディアサービス「LoMeS (ロメス)」において、グライダーアソシエイツが運営する「キュレーションマガジン antenna* [アンテナ] 」とサービス提携し、ANA ラウンジで展開する「ANA デジタルコンテンツサービス」で、1月13日からコンテンツ配信を開始します。

18	1月14日	<p>日本ユニシス・エクセリューションズ 3次元統合CAD/CAMシステム「CADmeister®」新バージョンV10.1を提供開始 ～ お客さまの声をスピーディに反映させるために、年2回のバージョンアップを実施 ～</p>
	ビジネスICTプラットフォーム	<p>日本ユニシス・エクセリューションズは、3次元統合CAD/CAMシステム「CADmeister（キャドマイスター）」の新バージョン V10.1 を 2016 年 1 月から提供開始します。2015 年 8 月にリリースした V10.0 に対し、今回リリースする V10.1 では、お客さまから要望のあった改善を中心とした操作性改善と機能拡充を行いました。</p>
19	1月18日	<p>日本ユニシス 勘定系システム「SBI21」における IC キャッシュカード店頭即時発行対応が埼玉縣信用金庫にて採用 ～ 信用金庫業界初 全 96 営業店で導入予定 ～</p>
	ビジネスICTプラットフォーム	<p>日本ユニシスは、埼玉縣信用金庫に提供している勘定系システム(「SBI21」に「IC キャッシュカード店頭即時発行機能」(以下 店頭即時発行機能)が採用され、2016 年度中の全 96 営業店での稼働を目指して開発に着手しました。信用金庫業界での採用は全国初となります。</p>
20	1月20日	<p>ユニアデックス 長野中央病院の基幹系から情報系まで院内全てのシステムの「仮想化基盤」を構築し、可用性と業務効率の向上を支援 ～ 仮想化基盤には、「Cisco UCS」と「Cisco Nexus スイッチ」を採用 ～</p>
	ビジネスICTプラットフォーム	<p>ユニアデックスは、長野中央病院の「情報系（ファイル共有、グループウェア、給与・勤怠管理など）システム」における仮想化基盤を「Cisco UCS」を用いて構築し、2015 年 10 月から本番稼働しています。これにより、基幹系から情報系まで全ての院内システムの仮想化基盤の構築を実現しました。ユニアデックスは、「Cisco UCS」、「Cisco Nexus スイッチ」の豊富な構築実績とサポート体制に加えて、長野中央病院のニーズを理解した提案内容と的確な対応力が評価され、本システムの構築・導入を担当しました。</p>
21	2月1日	<p>ユニアデックス SaaS 型 IT 運用管理サービス「Vistara」を販売開始 ～ クラウド利用の普及によって複雑化する運用管理の課題を解決 ～</p>
		<p>ユニアデックスは、SaaS 型 IT 運用管理サービス「Vistara」の提供を本日から開始します。今回、提供を開始する「Vistara」は、ハイブリッド環境のシステム運用を一元的に管理するサービスです。「Vistara」の利用により、複数の運用管理ツールの集約が図れるため、運用管理者の業務負荷や運用にかかるコストを大幅に軽減できます。また、運用手順の標準化により運用管理の品質を向上させることが可能となります。さらに、ハイパーバイザー（仮想化ソフトウェア）や Amazon Web Services™、Microsoft AZURE™といったパブリッククラウドの管理装置（コンソール）と連携する機能を実装するなど、昨今の運用現場で求められる環境が標準搭載されています。</p>
22	2月2日	<p>日本ユニシス ヤマダ電機の店舗で、米 Fellow Robots 社の自律移動型サービスロボット NAVII™（ナビー）を活用した実証実験を開始 ～ 家電量販専門店にて国内初 ～</p>
	デジタルイノベーション	<p>日本ユニシスは、米 Fellow Robots 社が開発・提供する自律移動型サービスロボット NAVII（ナビー）を活用した店頭での実証実験を、ヤマダ電機の店舗で、2月1日から開始しました。家電量販専門店での自律移動型サービスロボットの活用は、国内初の取り組みとなります。</p>
23	2月12日	<p>日本ユニシス NTT ソフトウェアの「特権 ID 管理ソリューション」が、福島銀行で利用開始 ～ 業務システム管理の要となる「特権 ID」の管理負荷とコストを大幅に削減 ～</p>
	ビジネスICTプラットフォーム	<p>日本ユニシスは、福島銀行に、エヌ・ティ・ティ・ソフトウェアが提供する「特権 ID 管理ソリューション」を導入しました。福島銀行では 1 月から本ソリューションの利用を開始しています。福島銀行は、中期経営計画『ふくぎん本気(マジ)宣言 II～ウォーム・マネーの福島銀行』において「顧客・地域を強力に支援するための基盤・能力・収益力の強化」という基本方針を掲げ、インターネット専用支店「いつでもどこでも支店」の高度化など、IT を活用した顧客満足度の向上への取り組みを実施しています。その一環として IT セキュリティの高度化に向けた取り組みも継続しており、今回、業務システム全体を管理する要となる「特権 ID」に関して、その管理の負荷やコストを削減するソリューションの導入を決定しました。日本ユニシスは、福島銀行のシステム構築パートナーとして本ソリューションの導入プロジェクトに参画しました。</p>

24	2月15日	ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ 「働きがいのある会社」調査 ベストカンパニーに選出
		ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズは、Great Place To Work® Institute(以下 GPTW)が主催する、2016年「働きがいのある会社」ランキング(従業員25~99名部門)において、第2位に選出されました。GPTWは「働きがいのある会社」の調査を行い、調査結果をもとに企業ランキングを発表している調査機関です。これまでに世界49か国、7,000社、500万人を対象に調査を行いました。
25	2月16日	日本ユニシスグループ 「Office 365 エンタープライズサービス」の「運用支援サービス」および「保守サービス」を提供開始 ~ Office 365 活用のアセスメントから運用支援・保守までの総合的サービスを提供 ~
	ビジネス ICT プラットフォーム	日本ユニシスとユニアデックスの日本ユニシスグループは、日本マイクロソフトの統合型情報共有クラウドサービス Microsoft Office 365 を活用するエンタープライズ向けに提供している「Office 365 エンタープライズサービス」に、「運用支援サービス」および「保守サービス」を追加し、本日から提供開始します。2015年7月に提供開始した「アセスメントサービス」、「導入・構築支援サービス」、「展開支援サービス」と、今回の「運用支援サービス」、「保守サービス」を合わせることで、Office 365 活用のアセスメントから運用支援・保守までの総合的なサービスを提供します。
26	2月22日	日本ユニシス 相続・贈与関連業務を支援する「個人信託システム」の開発を開始 ~ 信託業務ソリューション TrustPORT®シリーズのラインナップを拡充 ~
	ビジネス ICT プラットフォーム	日本ユニシスは、相続・贈与関連業務を支援する「個人信託システム」の提供に向けて、開発を開始しました。個人信託システムの第一弾として、遺言代用信託等に対応するシステムを2016年度初めに提供予定で、専門的な個人信託サービスの提供を特色とする株式会社朝日信託での採用が決定しています。日本ユニシスは、総合信託業務システムのパッケージ・ソリューション「TrustPORT」を、信託銀行、信託会社を中心に数多くのお客さまに提供してきました。このたび、昨今の個人の資産の相続・贈与における信託商品ニーズの高まりを受け、TrustPORT シリーズとして個人信託業務(遺言代用信託、教育資金贈与信託)に対応したソリューションを提供します。
27	2月25日	日本ユニシス、ディサークル POWER EGG® ワークフローが十八銀行で稼働開始 ~ 意思決定の迅速化とペーパーレスの促進を実現 ~
	ビジネス ICT プラットフォーム	日本ユニシスとディサークルは、十八銀行へ、日本ユニシスとディサークルが提供する「POWER EGG」を納入し、2015年12月1日から十八銀行全店での利用を開始しました。日本ユニシスとディサークルでは、今回の十八銀行での実績をもとに、POWER EGGの地域金融機関への展開を加速させていく予定です。
28	2月26日	日本ユニシス NTTソフトウェアの「特権 ID 管理ソリューション」が、秋田銀行にて採用 ~ セキュリティの強化に寄与し、「特権 ID」の管理負荷を大幅に削減 ~
	ビジネス ICT プラットフォーム	日本ユニシスは、秋田銀行から、エヌ・ティ・ティ・ソフトウェアが提供する「特権 ID 管理ソリューション」の採用を受け、3月の稼働を目指して本ソリューションの導入を開始しました。秋田銀行では、昨今の情報漏えいなど不祥事件の発生が相次いでいる状況を踏まえ、委託先を含むシステム管理者の不正や情報漏えい防止の仕組みを検討していました。今般、業務システム全体を管理する要となる「特権 ID」のソリューション導入が情報セキュリティ強化に効果的であるとの判断の下、「特権 ID 管理ソリューション」導入の決定に至ったものです。加えて、各端末の操作を動画とテキストで克明に記録し、不正操作・誤操作に起因するシステムトラブルや情報漏えいといったリスクを低減するソリューションの導入も併せて決定しました。日本ユニシスは、秋田銀行のシステム構築パートナーとしてこれらのソリューションの導入プロジェクトに参画しています。
29	3月1日	日本ユニシス・エクセリューションズ ポリゴン編集ソフト「POLYGONALmeister®」の機能を強化
		日本ユニシス・エクセリューションズは、昨年10月に販売を開始したポリゴンデータ編集ソフトウェア「POLYGONALmeister」(ポリゴナルマイスター)の機能強化版「POLYGONALmeister Ver1.2」の販売を3月1日から開始します。

30	3月9日	日本ユニシスと大日本印刷 「国際ブランドデビット 決済サービス」の提供を開始 ～ 北國銀行の Visa payWave®付きデビットカード「北國 Visa デビットカード™」で採用 ～
	デジタル イノベーション	<p>日本ユニシスと大日本印刷は、「国際ブランドデビット」の導入・運用に必要な取引処理、会員管理、勘定系システムとの連携、夜間サービス代行などの機能を提供する「国際ブランドデビット 決済サービス（以下:本サービス）」の提供を開始します。両社は国際ブランドの電子決済サービス分野で協業しており、前払い（プリペイド）方式の「国際ブランドプリペイド」に続いて、即時払い方式の「国際ブランドデビット」についても、ワンストップでトータルなサービスを提供します。</p>
31	3月14日	ユニアデックス 自由が丘商店街の「商店街データ見える化プロジェクト」活動報告会を実施 ～ 自由が丘商店街と産業能率大学と連携し、商店街の振興を推進 ～
	デジタル イノベーション	<p>ユニアデックスは、自由が丘商店街と産業能率大学と共同で、2014年4月から活動していた「商店街データ見える化プロジェクト」に関する活動報告会を2016年3月11日に開催しました。本プロジェクトでは、2014年4月から2015年12月までに収集された来街者情報の分析を、ユニアデックスが担当しました。これまでも、来街者情報分析は行っていましたが、今回は、テキストマイニングツールなど新たにICTを利活用することで、分析速度を高め、来街者情報の分析や見える化、課題の抽出などを行いました。</p>
32	3月15日	ユニアデックス 「自治体向けインターネット分離ソリューション」パッケージを販売開始 ～ VMware Horizon と NSX を中核とした自治体向け情報セキュリティ対策 ～
	ビジネス ICT プラットフォーム	<p>ユニアデックスは、「自治体向けインターネット分離ソリューション」パッケージの提供を本日から開始します。本パッケージは、単にインターネットに接続する機能をVMware Horizonにより情報系システムから分離するだけでなく、VMware NSXによるマイクロセグメンテーション（ファイアウォールを仮想マシンごとに設定する）機能を採用することにより、マルウェアの感染拡大を防止します。加えて、電子メールとWeb閲覧用のネットワークセグメントは、ファイアウォールを用いて分離することで、たとえマルウェアに感染してもHTTPやHTTPSポートを利用したバックドア（インターネットへの出入り口）の開設を防止します。</p>
33	3月17日	ユニアデックス U-Cloud®と他基盤間のデータ連携を容易に実現する「U-DataExchange™ サービス」を販売開始
	ビジネス ICT プラットフォーム	<p>ユニアデックスは、日本ユニシスグループが提供するクラウドサービス「U-Cloud」と他基盤間のデータ連携を実現する、「U-DataExchange サービス」を本日から提供開始します。本サービスは、このデータを連携させる仕組み作りをソフトウェア（U-DataExchange）とクラウド基盤（U-Cloud IaaS）をパッケージ化したサービス型として提供します。これにより、「U-Cloud」サービス環境にあるシステムと、他の基盤環境にあるシステム間の異なるデータ形式の変換を非常に簡単な操作で可能にし、データ連携を「すばやく」「簡単に」「スモールスタート」で利用することができます。</p>
34	3月22日	ユニアデックス ビジネスの進化を実現する「IoT エコシステムラボ」開設 ～ 従来の枠組みを超えた、新たな価値創造の場を提供 ～
	ビジネス ICT プラットフォーム	<p>ユニアデックスは、「IoT分野でビジネス拡大を狙う企業をつなぐハブとなる」ことを目指し、従来の枠組みを超えたIoT利活用の早期実現を支援する場として「ユニアデックスIoTエコシステムラボ」を4月11日に開設します。このたび開設する「ユニアデックスIoTエコシステムラボ」では、IoTを活用した新たな価値創造の実現を目的に、お客さまの課題を解決するシナリオの具体化に向けた「利活用検討の場」、オープンイノベーションをもたらす共創パートナーとの利用した「ビジネス共創する場」として、さまざまな活動を進めていきます。</p>
35	3月24日	ユニアデックス ネットワーク機器の障害復旧をスムーズに行う、新たな保守サービス「サポートサービスプラス™」を提供開始 ～ ネットワーク機器の構成情報を保管、更新、世代管理、廃棄まで一元管理 ～
	ビジネス ICT プラットフォーム	<p>ユニアデックスは、お客さまのネットワーク機器の構成情報を保管、更新、世代管理、廃棄まで一元管理し、障害復旧を円滑に行う新たな保守サービス「サポートサービスプラス」を4月15日から提供開始します。</p>

36	3月24日	<p>日本ユニシス 地方創生事業「物語のしま江田島、スタンプラリーシステム構築委託業務」を受託 ～ 観光活性化を実現する新しいエコシステムを創造し、地域創生に寄与 ～</p>
	ライフ イノベーション	<p>日本ユニシスは、広島県の江田島市観光協会から「物語のしま江田島、スタンプラリーシステム構築委託業務」を受託しました。現在までにスタンプラリーシステムのアプリ開発とクラウド基盤の整備は順調に終了し、4月1日から「兵姫（へいき）ストライク」とコラボレーションしたスタンプラリーが江田島市で始まります。本開発プロジェクトではスマートフォン向けアプリの開発プラットフォーム「Monaca®」を採用することで、アプリ開発のライフサイクル全般を効率化しています。</p>
37	3月25日	<p>日本ユニシス ユニシス技報 通巻 127 号「特集：データエンジニアリング IV」を発行 ～ ビッグデータ向けのデータベース基盤や分析・活用技術と適用事例を紹介 ～</p>
		<p>日本ユニシスは、ユニシス技報 通巻 127 号「特集：データエンジニアリング IV」を発行しました。ユニシス技報は、お客さまが抱える経営上の課題や技術的な問題を、日本ユニシスグループが情報技術を活用して実際に解決した方法や努力、成果について紹介する論文誌で、1981年に創刊し、1987年以降は年4回発行しています。本特集号では、ソーシャルメディアやセンサーデバイスがもたらす多様な大量のデータを蓄積するデータベース基盤や、それらのデータを分析・活用するテキストマイニング、機械学習、BEMS（ビル向けエネルギーマネジメントシステム）などの技術を解説し、適用事例を紹介いたします。</p>
38	3月28日	<p>日本ユニシス、システム・テクノロジー・アイ 企業内教育をサポートする両社サービスの共同販売を開始 ～ USB 型認証キー「SASTIK®」と学習管理システム「iStudy® Enterprise Server」を組み合わせ、自宅などの社外からでもアクセス可能で、セキュアな研修環境を実現 ～</p>
	ビジネス ICT プラットフォーム	<p>日本ユニシスとシステム・テクノロジー・アイは、企業での教育環境の効率化を実現するため、日本ユニシスの USB メモリ型認証キー「SASTIK（サスティック）」とシステム・テクノロジー・アイの学習管理システム「iStudy Enterprise Server」の共同販売を4月1日から開始します。両社のサービスを組み合わせることにより、企業は、自宅などの社外からでも研修が実施可能な、セキュアな研修環境を実現できます。</p>
39	3月29日	<p>日本ユニシス 訪日外国人観光客向けフリーWi-Fi ポータルサイト 「WAKAYAMA FREE Wi-Fi」を和歌山県から受託 ～ 県内のフリーWi-Fi 認知向上・利用促進で、和歌山県への観光客誘致を目指す ～</p>
	デジタル イノベーション	<p>日本ユニシスは、和歌山県から、ポータルサイト「WAKAYAMA FREE Wi-Fi」の制作とインフラの構築を受託しました。「WAKAYAMA FREE Wi-Fi」は、和歌山県が外国人観光客に、より快適に滞在してもらえるように取り組んでいる「和歌山フリーWi-Fi大作戦（注1）」のポータルサイトで、本日からサービス提供を開始します。</p>
40	4月7日	<p>日本ユニシス BI ツールの「MartSolution®」に 新バージョン「MartBrowser® v3」を追加し提供開始 ～ より使いやすく、効率の良い情報系システムの構築を実現 ～</p>
	ビジネス ICT プラットフォーム	<p>日本ユニシスは、BI ツールの「MartSolution」に新バージョン「MartBrowser v3」を追加し、本日より提供開始します。「MartSolution」は、情報系システムを効率よく構築・運営するための支援ツール群です。レポート生成ツール「MartBrowser」を中核に、自由検索ツール「MartBrowser AQ」やポータルツール「MartPortal®」、簡易エントリーツール「MartEntry®」などから構成されています。</p>
41	4月27日	<p>日本ユニシス USB 型認証キー「SASTIK®」と NISSAY IT の保険代理店業務管理システム「インプラス・ウェッジ」が スリー・エルにて採用 ～ 保険代理店のセキュリティ強化、利便性向上に寄与 ～</p>
	ビジネス ICT プラットフォーム	<p>日本ユニシスは、スリー・エルから USB 型認証キー「SASTIK」を受注し、ニッセイ情報テクノロジー（NISSAY IT）が提供する保険代理店業務管理システム「インプラス・ウェッジ」と「SASTIK」を組み合わせ、保険業法改正（平成 28 年 5 月 29 日施行）への対応に向けた導入を開始しました。</p>



Foresight in sight

UNISYS

- ※BankVision、BankersSuite、BANK_FIT-NE、CoreCenter、Dynavista、Enability、Foresight in sight、Lease Vision、LoMeS、MartSolution、MartBrowser、MartPortal、MartEntry、mobiGate、Preseak、Siatol、smartaxi/スマートタクシー、smart oasis、TrustPORT、U-Cloud、UNIBEMS/ユニベムス、WaviSaviNavi/ワビサビナビ、無事故プログラムDR、サイカメラZEROは、日本ユニシス株式会社の登録商標です。
- ※サポートサービスプラスは、U-DataExchangeは、ユニアデックス株式会社の商標です。
- ※CADmeister、POLYGONmeisterは、日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社の登録商標です。
- ※スマートキャンペーンは、大日本印刷株式会社の商標です。
- ※「北國Visaデビットカード」は、株式会社北國銀行の商標です。
- ※Visa payWaveは、ビザ・インターナショナル・サービス・アソシエーションの登録商標です。
- ※NAVIIは、Fellow Robots Inc.の商標です。
- ※Microsoft、Windows、Azure、Office 365、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- ※Amazon Web Services、アマゾン ウェブ サービス、AWSは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- ※Android、Google Chromeは、グーグル インコーポレイテッドの登録商標です。
- ※iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ※iPhone、OS X、Safariは、米国 Apple Computer, Inc.の商標です。
- ※iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ※Firefoxは、Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※Cisco UCS、Cisco Nexusは、米国Cisco Systems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※VMware、VMware NSX、VMware Horizonは、VMware, Inc.の米国および各国での商標または登録商標です。
- ※POWER EGGは、ディサークル株式会社の登録商標です。
- ※SASTIKは、株式会社サスライトの登録商標です。
- ※インプラス・ウェッジは、ニッセイ情報テクノロジー株式会社の商標です。
- ※BOJGWは、SCSK株式会社の登録商標です。
- ※Monacaは、アシアル株式会社の登録商標です。
- ※iStudyは、株式会社システム・テクノロジー・アイの登録商標です。
- ※Great Place to Work は、Great Place to Work Instituteの登録商標です。
- ※その他記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。